

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52108	保育者論 Requirements for Nursery Teacher	高木 都奈子	専門	2	必修	2 年前期
科目の概要						
今日、少子化、遊び場の減少、情報化など子どもを取り巻く環境や家庭のあり方などの変化により、保育者に求められる役割や責務はますます多様化、高度化している。 この授業では、子どもが健全に育つ環境条件や地域社会全体を視座に入れた保育者の責務や役割について理解する。 また、保育者の子どもに及ぼす影響の大きさなど、保育者の資質や専門性についても学ぶ。 ★保育所での保育士として実務経験があり、幼稚園教諭及び保育士として必要な専門的知識・技術及び職業倫理についてより実践的な講義を行う。						
学修内容			到達目標			
① 保育者の仕事と役割について理解する ② 保育者の職務、保育者の倫理、研修の必要性について理解する ③ 保育現場の事例、先輩の事例を通して分析と考察の分類ができる			① 保育者の仕事と役割を説明することができる ② 保育者には責務があり、保育者の倫理観が子どもに及ぼす影響があること、研修の必要性を認識することができる ③ 保育実習等の事例を通して分析と考察の違いを理解し簡単な論文を作成できる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。				
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ発表の際聞き手に分かりやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)話すポイントが整理され発表できる。				
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる事ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「今に生きる保育者論」(株)みらい 参考文献:「幼稚園教育要領解説書」「保育所保育指針解説書」						
他科目との関連、資格との関連						
他教科との関連:「保育原理」「教育原理」「児童家庭福祉」「心身の発達に関する科目」 「保育の計画・内容に関する科目」「家族援助論」 資格との関連:幼稚園教諭2種免許・保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
・授業に必要な資料を用意したり、調べたりして出席するとよい。 ・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を理解するとよい ・配布プリントや資料等、講義ノートは整理し、ファイル化しまとめておくとよい。			・保育は、子ども・保育者共に学び、育つ営みであることを認識し、自己を見つめ分析し、前向きに学ぶ姿勢、態度、保育者になる意識と自覚を持ち、子どものモデルとなれるよう、自己の生活態度にも関心を持ち意欲的に授業に出席する。 ・指導した論文形式でレポート作成しない場合は単位取得が不可になる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	- 小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容が理解できているか確認する。 ②自身の見解を述べ、次のステップにどのように行動するのか主張ができているか。 - 出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
レポート	60	①	✓	- 保育者論の確認(保育者の役割、倫理、専門性、職務、研修の必要性)が理解できているか判定する。 - 自己の保育者像、保育観が構築できているか評価する。 - タイトル【「自己の保育者像」の構築】について簡単な論文形式で作成する。 - サブタイトルを考え、指導した内容が記述されているか評価する。 - 授業の中の学び、文献(書籍)等で調べたことが記述してあるか評価をする。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓	(主体性)課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力)決めたことは最後までやりきることができたか評価する。 (課題発見力)現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力)他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力)相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができているか評価する (傾聴力)グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する。 (規律性)授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
その他		①		- 欠席や遅刻の多い学生、授業態度の悪い学生は減点マイナス評価をする。 - 課題等提出物を提出しない学生においては、1点ずつ社会人基礎力から減点する。 - レポート面接の際欠席した学生はその後行わない。 - 提出物についてはコピーを必ずとっておくこと。
		②		
		③		
総合評価 割合	100		✓	レポート、毎回の授業態度、授業中の質問(小テスト)の成績を総合評価する

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルに加え、 S:社会人基礎力のうち7修得できている A:社会人基礎力が6修得できている。 ① 保育者の仕事と役割について説明することができる ② 保育者の職務、倫理観の必要性を説明することができる ③ 自身の保育者像・保育観を説明することができる ④ 授業を真摯に受け、規律性をもち受けることができる	到達レベルに加え、 B:社会人基礎力のうち4修得できている C:社会人基礎力のうち2修得できている ① 保育者の仕事と役割について述べるができる ② 保育者の職務、倫理観を述べるができる。 ③ 自身の保育者像・保育観について述べるができる。 ④ 授業中のマナーを守り、規律性をもち受けることができる。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション	講義	学習の進め方、講義録の整理の仕方、受講態度、評価方法などについて理解できる。		90	規律性 傾聴力
2週 /	・保育者の生きる世界1 保育者から見る保育の世界、子どもから見る保育者について学修する。	講義 ・グループ討議 (グループ討議のメモ書き提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育者から見る保育の世界、子どもから見る保育者が理解することができる。	(予習)テキスト P22 まで読み授業に臨む。 改訂保育指針保育所保育指針総則を読んでもくる。 (復習)グループ討議で学んだことをミニレポートに記述する。	90	主体性 傾聴力 発信力
3週 /	・保育者の生きる世界2 先輩保育者の経験談を通して保育者になっていく過程を学修する。	講義 ・グループ討議 (グループ討議のメモ書き提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。 ・小テスト	先輩保育者の経験談を通して保育者になっていく過程を分析・考察し理解することができる。	(予習)テキスト P163～171 を読んでくる。 (復習)保育士にとって必要な資質を5つ記述してくる。	90	傾聴力 発信力
4週 /	・保育者の仕事と役割1 幼稚園教諭の仕事と役割、保育士の仕事と役割について学修する。	講義 ・前週の講義内容をフィードバックする。 ・小テスト	幼稚園、保育園の1日、1年の流れ、その他の仕事を知り、仕事内容を理解することができる。	(予習)テキスト P23～33 まで読んでくる。 (復習)小テストを行う為保育士の仕事と役割、幼稚園教諭の仕事と役割を覚える。	90	主体性 規律性
5週 /	・保育者の仕事と役割2 保育教諭、児童福祉施設における保育士の仕事と役割について学修する。	講義 ・まとめレポート面接 ・前週の講義内容をフィードバックする。	認定こども園・施設の1日、1年の流れその他の仕事を知り仕事内容が理解することができる。	(予習)テキスト P33～41 まで読んでくる。 (復習)保育教諭の仕事、児童福祉施設における保育士の共通な仕事内容、異なる仕事内容を用紙に整理し役割を学ぶ (復習)学んだことから「自己の保育者像」のサブタイトル・動機保育観を考え記述してくる。	90	課題発 見力 実行力
6週 /	・保育者になるための学び1 保育者になる為に保育に対する見方、態度の転換や生活体験や教養が重視されることを学修する。	講義 ・まとめレポート面接 ・前週の講義内容をフィードバックする ④キャンパスライフを持参し資格取得の為の学びを記述する。	保育者になる為に保育に対する見方、態度の転換、保育者の素質を育てる生活体験、教養を重視する事が理解することができる。	(予習)テキスト P42～51 までを読んでおく (復習)「自己の保育者像」の研究の方法を記述してくる。	90	課題発 見力 実行力
7週 /	・保育者になるための学び2 幼稚園免許、保育士資格取得の課程や保育現場で学ぶ意義を理解し、行動指針を作成する。	講義 ・まとめレポート面接 ・前週の講義内容をフィードバックする。	幼稚園免許、保育士資格取得の課程や保育現場で学ぶ意義を知り、自己の学びを見つけレポートに記述することができる。	(予習)テキスト P52～60 まで読んでおく (復習)・P52～60 ・「自己の保育者像」のレポートの構成を考える。	90	課題発 見力 実行力
8週 /	・保育者に求められる資質とは1 保育者に求められる資質、専門性、役割について学修する。	講義 ・グループ討議 (グループ討議のメモ書き提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育者に求められる幅広い資質を理解する為に、専門性と期待される役割を理解することができる。	(予習)テキスト P62～70 までを読み、保育士に求められる専門性・役割をそれぞれ5つ考える。 (復習)小テスト行為専門性、役割について学修してくる。	90	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / /	・保育者に求められる資質とは2 保育者の資質向上や役割を果たす為に自己の振り返り、学生時代の学びの行動指針を記述する。	・講義 ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育者の資質向上、役割を果たす為に自己の振り返りをし、学生時代に求められる学びについて考え、理解することができる。	(予習)テキストP70～75までを予習しておくこと。 (復習)行動指針を考えてくる。	90	主体性 規律性
10週 / /	・職場で学びあう専門家として同僚性(協働や資質向上の重要性)について学修する。	講義 ・小テスト(研修目的) ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育者の事例を通して保育現場の職員間で成長し合うことの意味や重要性について理解することができる。	(予習)テキストP78～91までを予習しておくこと。 (復習)「自己の保育者像の構築」について研究の方法について考える(参考文献を決める)。	90	主体性 規律性
11週 / /	・子どもの育ちの危機と子育て支援 子どもの育ちの課題を知り、家庭、地域社会で必要な子育て支援を考える。	講義 ・グループ活動(グループ討議のメモを提出) ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	現代の子どもの育ちの課題を知り家庭、地域社会でどのような子育てが必要か考え、園としてできる支援を发表できる。	(予習)テキスト P94～112 まで読んでおく (復習)「自己の保育者像の構築」について構成を考える。	90	発信力 傾聴力
12週 / /	・現代社会の変化と保育者の仕事や課題 現代社会の理解と保育者が担う課題を学修する。	講義 ・前週の講義内容をフィードバックする。	多文化共生理解、就学前サービス、「男女共同参画」の理念など社会の変化を理解し、保育者が担う課題を理解することができる。	(予習)テキストP114～125までを予習しておくこと。 (復習)小テストを行うので講義内容の復習をすること。	90	主体性 規律性
13週 / /	・保育者の職務と生活 保育者の職務、倫理、研修の必要性を学修する。	講義 ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育者の職務について学ぶ。また保育者の倫理、研修の必要性が説明できる。	(予習)テキストP128～144までを予習しておくこと。 (復習)「自己の保育者像の構築」について下書きを作成する	90	主体性 規律性
14週 / /	・日本の保育者のあゆみ 保育の歴史や保育が形成された経緯を学修する。 ・自己の保育者像の発表、他者の保育者像を知る。	講義 ・グループ討議(グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・明治以来、日本で保育者が辿ってきた道を学び、保育が形成された経緯を理解するし説明できる。 ・自己の保育者像を述べ、傾聴をすることができる。	(予習)テキストP147～160までを予習しておくこと。 (復習)グループ討議の中で学んだことをまとめレポートの下書きを作成しておく。	90	発信力 傾聴力
15週 / /	・自己の保育者像の構築 今までの講義や実習体験を基に自己の振り返り、自分磨き(行動指針も含め)等改めて今後の自己の保育者像を構築する。	講義 ・レポート作成 ・14週間の講義内容をフィードバックする。	今までの講義や実習体験を基に自身の生活態度、人との関わり方、学生生活の意義、自分磨き等含め自己の保育者像を改めて考え構築し、記述できている。 【論文形式】 はじめに・目的・内容・保育観・まとめ・今後の課題を記述)	(予習)講義で学んだ事、グループ発表で学んだことをまとめレポート作成に臨む。	90	創造力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力